

令和8年6月5日(金)

校長室の窓から「有浦よさこい」始めました！」



本来であれば、5月末の学校報と併せて、校長通信を出すのですが、今回は、今日の「よさこい始め」を待って通信を出すことにしました。ということで、前回の校長だよりでお知らせしていたとおり、有浦よさこいのプロジェクトが始動しました。

当初は「南中ソーラン」というハードな踊りを想定していましたが、それよりも、みんなで踊れて楽しめる「よさこい」を6年生が選んだので、「有浦よさこい」に取り組むこととなりました。

【講師のご紹介】



6年生を指導いただくのは、大館よさこいチームの渡部聖子（せいこ）さん、末羽（みはね）さんです。親子でよさこいに取り組んで来られました。きりたんぽ祭りなどのお祭りや施設等への慰問活動など、幅広く活動されています。昨年、事情があり、チームを解散されたそうですが、そのことを知った本校6年部主任の畠山先生が、渡部さんに「6年生に指導をしてほしい」とお声がけをしたところ、ご快諾いただきました。このあと、完成までに数回お世話になります。どうかよろしくお願いいたします。

【本日の活動】



1時間目は、お2人から、会の立ち上げに関するエピソードや、よさこいにかける熱い思いを語っていただきました。子ども達は、大切なことをたくさんメモしてこれからの活動に生かそうとしていました。感想発表では、よさこい

にかけるお2人の姿に感動し、「尊敬しています」など、心を揺さぶられたようでした。熱く語れば思いは子どもに通じるということですね。

2時間目は、いざ実践です。分からないながらも見よう見まねで、踊りを覚えようと必死にがんばりました。回数をこなすごとに上達してくれると思います。

有浦小学校の新しい伝統が、今日スタートしました。応援をよろしくお願いいたします。



【見よう見まねでがんばる6年生】

【見えないけれど、掛け声は出ています】

～伝統とは形を継承することを言わず、その魂を、その精神を継承することを使う～
嘉納治五郎（柔道家）